

たきょう 毅

町政レポート 2024.10

22



発行：たきょう毅後援会

連絡先：〒444-0193 額田郡幸田町大字芦谷字丸山5 TEL 0564-56-7727 FAX 0564-56-7918

9月議会報告 会期=令和6年9月2日~25日

幸田町議会公式
YouTubeチャンネル→



令和6年第3回定例会は、会期24日間で開催されました。
 報告1件および人事案件1件、単行議案7件、補正予算関係4件、決算認定8会計および議員提出議案2件が、すべて原案通り同意、可決、認定、採択されました。陳情12件を審議し採択された2件を議員提出議案として審議し可決、国と県に対し意見書を提出しました。
 私は一般質問に登壇し、住民目線で皆さんからの「声」を届け、実現に向けた提案および発言をしました。
 なお、8月8日に会期1日で開催された令和6年第1回臨時会では、一般会計補正予算1件(歳出歳入それぞれ1億7236万円追加)が審議され、原案通り可決されました。

一般会計補正予算 (主なもの)

歳入

国庫 1168万円、基金繰入 -4億5780万円、繰越 6億8035万円、諸収入 4740万円、町債 5120万円

歳出

- 【衛生費：1億7210万円】
・粗大ごみ集積場(桐山地内)の用地および建物の購入
- 【土木費：1億7631万円】
・仲田アンダーパスへ自動閉鎖機の設置
・三ヶ根駅西口ロータリーの整備工事



トピックス! 【決算】

財政力指数1.07、前年度比772万円(0.0%)の増収

一般会計 歳入：204億4776万円、歳出：193億5447万円

概要

- 町税 個人町民税・法人町民税および固定資産税などが増収(全体で4.0%増)
- 町税以外 歳入増加は地方交付税、財産収入および繰越金。減少は国庫支出金および県支出金など。
- ふるさと寄附金 前年度8.8%減(安定的な財源ではない) など

事務事業の必要性・有効性・効率性に視点を的確な予算配分等「適正な公金の支出と事務処理」に心掛け、

より良い行政サービスをより効果的に提供

一般質問①

「本町の水素社会に向けた環境づくりの促進」



※一般質問動画→

私の思い

2050年に向け、町が担うべきカーボンニュートラル関連施策は次年度予算に反映し、着実に前進させるべきもの。

現状

水素社会に向けた環境づくり促進が期待されるが、課題は山積。

一般質問

課題解決に向けて、J-クレジット制度などの手段を有効活用して取り組むべきでは。など

回答

環境経済部長▶公共施設への再生可能エネルギーの導入方法の検討及び導入スケジュールの具体化、民間事業者との連携による施策推進などが課題。
J-クレジット地産地消スキームの導入を検討している。
今後、国の動向を注視し、県との連携により、中小企業等が経営に取り組むことのできる、支援体制構築を調査・研究する。



里山で環境課題を学ぶ小学生

中小企業等の支援体制構築を調査・研究する

一般質問②

「本町のSDGsの推進」

私の思い

全国的な調査結果では、SDGsに取り組む企業の7割が「企業イメージ向上」「従業員モチベーション向上」を実感する一方で、規模が小さいほどSDGsには積極的な傾向。町民が理解し、一人ひとりが参画できることが課題。

現状

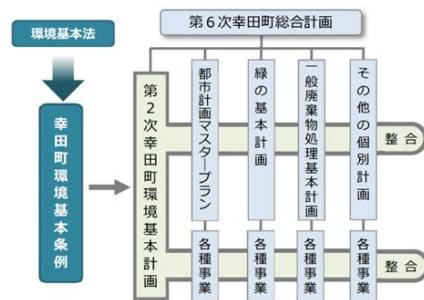
SDGs未来都市に認定された。本町計画には、17ゴールすべてが網羅された計画はない。

一般質問

SDGs未来都市の目指す姿・方向性、SDGs理念の各計画への反映、施策推進。など

回答

環境経済部長▶「第2期幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一貫性を持たせた。地域経済の育成と地域の活力や魅力の向上のため「森林サービス産業の推進」「こうしたSDGsプラットフォームの設立」「JR三駅を活用したマルシェの開催」の予定。各課で個別計画を策定し推進が望ましい。留意すべきゴール、ターゲットの内容を分かりやすい形で示し推進する。



各事業を関連付けて推進

市内の共通認識を醸成する環境を整え、地域活性化などを図る



地域の困りごと、町政に対する ご意見・ご要望などございましたら
お気軽に「たきょう毅くらしの相談」をご活用ください♪

たきょう毅

検索



<https://takyo-giin-dnwu.com/>



※【お願い】町政レポート配布にあたり、氏名および住所の相違や変更がありましたらご連絡ください。（連絡先：表面/上部記載）



参議院議員

てつじ

いそざき 哲史

仲間の思い、かたちにしたい。